

一般社団法人 栃木県作業療法士会
令和6年度 理事会議事録（第2回）

開催日時：2024年9月27日（金）19:00～20:53

開催場所：宇都宮市茂原一丁目1021番地7（ZOOM配信）

出席理事：仲田、坂田、寺尾、板倉、玉野、山口、野崎、和久井、岩瀬、上岡、野尻、渡邊、染谷、高村、須藤（智）、須藤（誠）、有馬、横山、久米

全理事20名中、19名出席（全員ウェブ会議システムによる出席）

出席監事：なし（全員ウェブ会議システムによる出席）

欠席：信末

陪席：なし

順不同、敬称略

議案

会長挨拶

本日の理事会はウェブ会議システム（ZOOM）を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常がなく、出席理事数が定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

I. 報告事項

【会長】

- 1) 会長職務執行状況報告について（2024年4月～8月）
 - ・第1回 JRAT 栃木代表者会議（5/7）
 - ・第71回精神保健福祉全国大会第1回実行委員会（5/8）
 - ・栃木刑務所職員との面談（5/20）
 - ・第24回とちぎリハビリテーションフォーラム挨拶（5/26）
 - ・栃木県リハビリテーション学術大会キックオフミーティング（6/21、8/27）
 - ・栃木刑務所代替職員選考面談（6/29、7/1、7/2）
 - ・2024年度第1回協会長・都道府県士会長会議（7/6）
 - ・常設委員会災害リハビリテーション対策委員会（7/10）
 - ・2024年度第1回地域事業支援会議（7/20）
- 2) 第71回精神保健福祉全国大会について
10月11日（金）10:00～15:30 栃木県総合文化センターメインホールにて開催
- 3) 栃木リハビリテーション学術大会について
第3回キックオフミーティング開催 学術大会の申し合わせを行った
今後は、準備委員会を立ち上げての活動へ移行する
- 4) 2024年度第2回協会長・都道府県士会長会議について
9/21～22 開催 議事録は後日回覧予定
- 5) 2024年度第3回協会長・都道府県士会長会議について
11/23（土）開催
仲田が専門職協会災害対策部主催によるファシリテーター研修に参加するため、会長代理として坂田副会長が参加。他、渡邊副会長がオブザーバー参加予定。
他の理事にも、理事会後からオブザーバー参加の募集をかける。
- 6) 専門職協会災害対策部主催の研修会について
理事の方には、11/24（日）9:00～13:00の研修会参加をお願いしたい。
内容：「REHUG」（大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム）
場所：自治医科大学
- 7) 栃木県言語聴覚士会創立20周年記念式典について
10月27日（日）13:30～16:00 乃木温泉ホテル「さくら」にて開催
仲田出席 現慶弔規程に則り、祝金を持参する
- 8) 栃木県立リハビリテーションセンター運営懇談会開催について
11月6日（水）15:00～16:30 岩瀬副会長代理出席
- 9) 士会の事業運営費について

年会費収入での事業運営を目指す。

士会管理費300万を年間固定費とし、年会費収入ー300万＝事業費として各部・委員会に分配。
次年度年会費収入額（予算）の決め方、および各局への予算分配を、次の三役会で決める予定。

10) 令和7年度士会事業計画や取組強化について

協会の2025年度重点活動項目（別紙）を反映させた士会の事業計画を次の三役会で検討する。

事務局

【総務部】

11) 名義後援について（別紙参照）

- ・依頼団体：NPO 法人 日本ソーシャルバスケットボール協会
日時：令和6年9月28日（土）ソーシャルバスケットボール・キャラバン2024-25
→ メール審議にて承認することに異論なく、9月9日に承認の旨返答した。
- ・依頼団体：第37回日本ハンドセラピィ学会学術集会
日時：令和6年4月11日（金）～12日（土）
→ 事前にメールで配信して異論なく、理事会をもって承認する。

【会員管理部】

12) 会員管理および会費納入状況（9月19日時点）

会員数：813名

入会届未提出：3名 士会非加入の協会員：115名 協会非加入の士会員：8名

入会者：58名（新規53名、再入会5名） 退会者：11名

強制退会者：27名→内1名再入会

会費納入：令和5年度分 3名（24,000円）

令和6年度分 494名（3,952,000円）

領収証（9月12日時点）：497名分発行

現在の会費納入率61%

- ・新規入会者数は昨年度を上回っている（令和5年度は新規入会50名、再入会7名）
- ・入会届未提出者について：年会費納入連絡時および個別で改めて入会促進のメールを送付した

【財務部】

13) 第一クール会計書類について

会計士より指摘をうけた件について確認中。

9月締め、10月8日事務所着で第二クール会計書類提出をお願いする予定。

【福利部】

14) 新入会員歓迎会について

「先輩 OT に学ぼう！ 新人 OT 座談会」

県央地区：8月30日（金）台風接近の予報と、最低開催人数に満たなかったため中止。

申し込み者数は4名。

会場は栃木県立リハビリセンターを予定していた。

県南地区：9月24日（火）最低開催人数に満たなかったため中止。

申し込み者数は4名。

会場はマロニエ医療福祉専門学校を予定していた。

県北地区：10月25日（金）19:00～20:30で開催予定。

会場は国際医療福祉大学。

15) 株gene「リハノメクーポン」発行状況について

- ・現在の発行者数：5名。
- ・前回理事会より1名増（対応中だった1名に発行）。
- ・内訳は、「新入会員向け1ヶ月無料クーポン」を1名に発行。

- 「県士会員向け永久 20% off クーポン」は 4 名に発行。
- ・入会后 1 年目が 2 名。2 年目～5 年目が 3 名。
 - ・8 月・9 月は、申し込みなし。

社会局

【事業部】

16) 委託事業部門について

- ・8/28(水) 栃木県自立支援協議会相談支援部会へ出席。事業部内で複数名対応ができるよう検討中。
- ・10/5(土) 日本作業療法士協会招聘「関係機関と連携した地域・職域での予防・健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修」への参加調整。間瀬副部長が参加予定。

17) 作業療法啓発推進部門について

- ・9/12(木) 小中高校生向け OT 体験会検討会議。該当施設は、国際医療福祉大学塩谷病院、新宇都宮リハビリテーション病院。実施候補日は、学校の長期休暇を利用できるように 12/21(土)、3/22(土) 開催予定。今年度は、小学生を主なターゲットとし、中学生の参加も可能な募集方法とする。体験内容を検討中。
- ・9/16(月) OT 啓発カードの作成、理事へ送付。9/25(水)「作業療法の日」を目安に、所属施設内、関係者への配布を依頼。本カード作成にあたり広報部より協力を得る。

18) 障害者スポーツ推進部門について

- ・7/21(日) 知的障害者ソフトボールチームへの練習参加。ストレッチ、アップ、キャッチボール、守備の指導を実施。

【制度対策部】

19) 保険福祉部門について

- ・第 1 回会議(オンライン) 7 月 25 日 4 名参加
改定後の状況確認。相談窓口の設置について他部との調整を進める。

20) 特別支援教育・スクール OT 推進部門について

- ・5 歳児検診への作業療法士参画に関する情報交換会 7 月 28 日 2 名参加 別紙資料参照
5 歳児検診は任意であり、全国での実施率は 14.1%。3 歳児検診から就学児検診までの期間が空いてしまい、就学児の支援体制が間に合わない、就学後の二次障害などの課題あり。今後協会として 5 歳児検診への OT の参加を PR するとともにアセスメント方法などについて技術研修なども検討する。
- ・第 2 回会議(オンライン) 9 月 11 日 6 名参加
情報交換会報告。学会へのブース参加について。協会との意見交換会への参加について。
- ・教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会 9 月 21 日 2 名参加
- ・児童福祉領域の作業療法士意見交換会 9 月 29 日 2 名参加予定

21) 自動車運転支援推進部会について

- ・マニュアル作成に向け、委員所属施設のマニュアルを集約中。
- ・第 2 回会議(オンライン) 9 月 27 日

広報局

【広報部】

22) 栃の実について

現在、会報誌「栃の実 No.111」の編集活動を実施中。9 月 13 日に今年度 2 回目の広報部会議を実施し、「栃の実 No.111」の進捗状況、来年度の事業計画と予算について検討を行った。今後、会報誌「栃の実」が会員や一般の方の目に届きやすいように伝達手段の変更をすることも踏まえ、「栃の実」の内容についても、新しいコーナーなどを検討していく。

【ウェブサイト管理運営部】

23) 第1回会議（オンライン）について

8/21（水）4名参加

今年度の事業内容、ホームページ広告等掲載、公式SNS、ホームページリニューアルについて

24) ホームページリニューアルについて

(1) 現状

ホームページ管理会社「ナスビーエム」に正式依頼する。現在業務依頼を多数抱えており、当士会ホームページリニューアルに取り掛かり始められるのは1月下旬頃を予定。制作期間は3~5ヶ月程度必要とのこと。

(2) 今後の流れ

デザインやメニュー構成、各ページの改修内容や掲載記事データ（投稿型）の扱い、コンテンツ等の新規制作に関する細かいヒアリングシート作成する。回答内容に沿って正式見積りを作成。

(3) 支払い方法

前払い可能（年度内に支払い可能）

25) ホームページアクセス数について

別紙参照。2024年7月のアクセス数増加は「実習指導者講習会」検索の為である。8~9月は「刑務所 矯正展」の検索が増えている。

学術局

【教育部】

26) 現職者共通研修について

・第1回：令和6年10月20日（日）

講義：生涯教育概論

講師：渡邊真一氏（白澤病院）

実践のための作業療法研究

講師：関森英伸氏（国際医療福祉大学）

日本と世界の作業療法の動向

講師：渡邊真一氏（白澤病院）

・第2回：令和6年12月22日（日）

講義：作業療法における協業・後輩育成

講師：高村直裕氏（国際医療福祉大学）

講義：職業倫理

講師：関優樹氏（国際医療福祉大学）

講義：事例検討報告会

・第3回：令和7年1月18日（土）

講義：保険・医療・福祉と地域支援

講師：大河内智弘氏（尾形クリニック）

講義：作業療法の可能性

講師：大橋由美子氏（マロニエ医療福祉専門校）

講義：事例報告と事例研究

講師：野崎智仁氏（国際医療福祉大学）

・MTDLP基礎研修

令和6年8月4日（日）開催

講師：池澤俊光（さつきホームクリニック）

参加者：15名

・現職者共通研修について

令和6年10月27日（日）開催予定（発達領域）

令和6年11月17日（日）開催予定（身障領域）

【研修部】

27) 研修会予定について

・10月22日（火）19:00~ 精神障害分野研修会

テーマ：ゼンダングルアート（対面研修）

講師：八木澤

・10月末~11月（平日）19:00~ 研修会企画運営部門

テーマ：職場リーダー又は中堅職員向け倫理研修（オンライン研修）

講師：太田睦美氏（日本作業療法士協会倫理委員会 委員長）
参加費：栃木県作業療法士会会員限定にて無料開催（前年度同様）

・12月15日（日）9:00～

テーマ：作業療法理論を用いたリーズニングと栃木県内の実践（仮）

講師：藤本一博氏（茅ヶ崎新北陵病院）各分野から講師を選出する（4名程度）

28) 参加費決済システム（スクエア）について

- ・スクエアに対して登記簿謄本（履歴事項全部証明書）、サービス（研修内容一覧）の提出を予定
- ・既に研修会を行っている部があり参加費徴収を待っていただいている状況がある。
- ・10月初旬をめどに運用できるよう調整したい。

【学術部】

29) 第14回栃木県作業療法学会

- ・演題数33題（口述18題、ポスター15題）
→演題募集期間9/14、原稿提出期間を10/12延長、原稿修正期間10/22～10/29変更
- ・査読依頼（査読可能者56名→査読者募集期間9/30変更、査読期間10/14～10/21変更）
- ・公文書、後援依頼：講師への依頼内容確定次第発行、講演依頼は返答待ち
- ・学会ポスターの作成、発送：修正後最終決定
- ・お子様連れ参加可能な学会形式

【福祉用具部】

30) 進捗状況について

- ・現在、自助具コンテスト開催中
まだ応募件数が少ないため、各施設にて広報、応募促進をお願いしたい。
締切は2週間ほど延長予定。また、今年度はQuoカードからAmazonギフト券に変更。
- ・今年度より3Dプリンターのオンラインショップnicoさんと提携し、参加賞として薬袋開封付きのペットボトルオープナーを配布予定。
まだ未定だが、自助具コンテストの作品及びアイデアをnicoさんの手で商品化する取り組みも検討中。
- ・研修会は9月に検討していたが、Passmarketからの変更のため準備に時間を要しており、時期について見直し中。

地域局

【地域共生社会推進部】

31) 座談会について

- ・認知症ケア推進部門 オレンジサロン石蔵カフェでの座談会（7/21）開催：10名参加。

32) 会議について

- ・訪問・通所リハビリテーション推進部門第二回会議（9/11）参加者：井澤、橋本、鈴木、高庄、石田 計5名 座談会（11/11開催）、相談窓口の確認等
- ・認知症ケア推進部門 第二回会議（9/25）参加者：鈴木、遠藤、白戸、先崎、大串、有馬 計6名
第二回座談会（10/27開催大学オレンジカフェ 15名定員：8名+学生数名）の確認
認知症の人と家族の会との連携等
- ・障害児者福祉推進部門 第一回会議（9/26）参加者：八木澤、室井、有馬 計3名
オンライン相談窓口：今年度は年二回開催（一回目11-12月、二回目1-2月）、
企業見学ツアーの確認等

33) その他

- ・認知症の人と家族の会栃木県支部が主催の「第三回認知症フレンドリーフェスタ（10/13開催）」のボランティア協力依頼あり（代表金澤氏より）。
⇒鈴木部門長、久米理事、須賀氏、有馬の四名が参加予定

【地域活動支援部】

34) 会議について

(1) 第一回 県北エリア会議（7/22）

- 参加者：鈴木、大藤、鴫、久米、須賀、佐藤、上祐、室賀、仲田
- ・エリア長、副エリア長、那須烏山支部長、那珂川町副支部長の変更
 - ・本年度事業予定の確認
 - ・7/28 他職種連携交流会の進捗確認
 - ・各市町のR5年度の活動報告と本年度の予定の確認

(2) 第一回 県北エリア交流会（7/27）

- 参加者：15名
- ・座談会
 - ・ターゲット・バードゴルフ体験
 - ・アンケート実施

(3) 第一回 県南エリア会議（8/29）

- 参加者：渡邊和也、須藤智宏、横尾一徳、関泰章、山崎友里、松川勇、伊是名興平計7名
聴講者：久米理事、大藤副理事 計2名
- ・地域事業支援会議（7/20開催）の報告
 - ・県南エリア各支部の活動報告
 - ・県南エリア他職種連携交流会について

(4) 第一回 県央エリア会議（9/24）

議事記載締め切りが9/22の為、内容報告は次回理事会。

常設委員会

【災害リハビリテーション対策委員会】

35) 進捗状況について

- ・2024年9月13日に会議を実施した。

(1) 災害リハ研修について

①2024年11月23日 13:00~17:00

ファシリテーター研修（災害部担当で研修を受講し、今後の災害教育体制を強化する）

②2024年11月24日 9:00~13:00

全体研修会（ファシリテーターは、前日に受講した内容を踏まえ、ファシリテーターの技術を習得する。受講者は「REHUG」を学ぶ。）

(2) 士会-協会災害対策担当者情報交換会について

10月下旬に開催予定である。

- ・災害シミュレーション訓練の結果報告
- ・大規模災害時支援活動基本指針
- ・災害発生時の士会-協会連絡体制について

(3) 協会災害支援ボランティア登録者向け研修会について

・12月14日に開催予定である。

(4) 災害シミュレーション訓練について

・9月25日に実施予定である。

(5) その他

- ・厚生労働省より、JRA Tに向けた感謝状が送られた。
- ・今年度の県学会で、ブース設置・ワークショップを検討していく。

【第 25 回とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会】

36) 進捗状況について

来年度開催に向け、精神障害領域のテーマで企画を進めていく。

田村勇樹委員長（マロニエ医療福祉専門学校）を筆頭に、県内各地の精神科 OT を中心に委員を集め、9/26(木)より企画会議を開始予定。

【地域包括ケア・介護予防推進活動調整委員会】

37) 進捗状況について

(1) 日本作業療法士協会 第 1 回地域事業支援会議 (7/20)

参加者：専任者 2 名、聴講者 3 名、仲田会長

(2) 日本作業療法士協会 地域包括ケア推進班 B ブロック会議 (8/20)

参加者：久米、鈴木、菊池、大藤、山崎

(3) 第 1 回地域事業支援会議の振り返り、市町村担当者配置事業のモニタリング表に関する質問等、茨城県士会・群馬県士会・埼玉県士会・千葉県士会・神奈川県士会・東京都士会・新潟県士会・山梨県士会・長野県士会との意見交換

(4) 栃木県リハビリテーション専門職協会 理事会 (8/28)

参加者：細井、三田、横山、岩瀬、秋山、川島、佐々木、相場、山崎、寺田

・審議 1 ミヤラジ(株式会社 宇都宮コミュニティメディア)

『行列ができる！街かど相談室』出演依頼

・報告 1 令和 6 年度とちぎフレイル予防アドバイザー連絡会について

・報告 2 令和 6 年度 第 1 回栃木県高齢者支援計画推進委員会について

・報告 3 田中昌史(理学療法士 参議院議員)先生講習会について

・報告 4 令和 6 年度第 1 回栃木県在宅医療推進協議会

・事務連絡 1. 令和 6 年度上期の決算報告書の準備・提出（会計係）

・事務連絡 2. 令和 6 年度上期の「事業報告書」の準備・提出（部会長）

・事務連絡 3. リハ 3 土会の会員数の把握（各団体 事務局員）

・事務連絡 4. 令和 7 年度予算案・事業計画案作成（次年度分）の予定について

II. 審議事項

1) 新規事業計画案の立案について（仲田）

各理事は協会の 2025 年度重点活動項目（別紙）を踏まえた次年度の各部事業計画の作成を。

また、新規計画案があれば担当局長に挙げてほしい。（10/11 まで）

→重要度や優先度を三役会で検討し、次年度の各部・委員会の予算分配に反映させていく考え。

2) 非会員に向けた士会としてのアプローチについて（仲田）

8/16 三役会でも検討しているが、理事の皆様の意見を窺いたい。

案 1) 仲田会長からの「(熱い)メッセージ資料」を各職場へ配信し、非会員へ管理者から回覧。

案 2) 年会費や制度の周知方法を検討。（休会と退会の違い等）

案 3) 職場での広報方法を検討。「職業倫理」という言葉は響きそう。

案 4) 学生に対しての広報方法を検討。「職業倫理」という言葉は響きそう。

案 5) 研修会に交流会や県士会 PR 活動を参画。

案 6) 県士会に入っていない施設に対して、研修会の案内をしていき広報。

→具体的な方法案があれば、会長まで。三役と協議を進めていきたい。

具体例、精神科領域では士会員のいない精神科病院があるため Fax にて広報したい。

3) 会員への還元や会員であることのメリットについて（仲田）

8/16 三役会でも検討。理事の意見を窺いたい。

案 1) 学会の中に基礎講座を盛り込み、士会員は無料、他団体は 500 円といった差別化。

案 2) 論文・文献検索サイト（医中誌等）で法人契約を行い、士会員が利用できるような体制。

案 3) 若手が若手を刺激できるような体制作り。

若手だけが参加できるような研修会を開催し、企画力・運営力の強化。

案 4) 県士会活動に頑張ってくれている方への報酬（会費無料・半額等）

→具体的な方法案があれば、会長まで。三役と協議を進めていきたい。

Ⅲ.決議事項

- 1) 審議概要書①「関東地方の小児・発達 OT を対象とした交流会 共同開催について」
→承認
- 2) 審議概要書②「賛助会員規程、広告掲載費・展示スペース費について」
→承認
- 3) 審議概要書③「慶弔規程の一部改正について」
→承認

Ⅳ.その他

- 1) 第 3 回理事会（12/20）について
 - ・各部・委員会の令和 7 年度事業計画および予算案の提出をお願いしたい。
 - 令和 5 年度の決算額+10%を目安に事業計画及び予算案の見直しを行う。
 - 後日、事務局より連絡予定。
- 2) 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA JAPAN スクーバ ジャパン）について
 - ・栃木県支部の活動報告
 - 今後依頼があれば、協力をお願いしたい。
 - 質問があれば担当の上岡理事まで。
- 3) 協会からのアンケート調査について
 - ・メンター制度を活用している部があれば、10月17日までに渡邊理事まで連絡を。